

新着図書からおすすめの5冊

(平成23年12月27日掲載)

貸出と予約の開始は**12月27日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**1月10日(火曜日)**です。

『困ったときのくらしの法律/知識
Q&A』

第二東京弁護士会五月会くらしの法律研究会 編

清文社 刊

男女関係、親子関係、相続・遺言から、取引、インターネット、刑事事件、裁判員制度まで、日常生活全般に深く根をおろした法律問題を、Q&A形式でわかりやすく解説する。相談窓口一覧なども掲載。

請求記号：320/Ko,6

『心の視力』

オリヴァー・サックス 著

早川書房 刊

知覚に障害を負ったとき、脳と心はどのように対応していくのだろうか。

生まれつき人の顔が見わけられない「相貌失認」をわずらい、さらに癌により右目の視力を失った脳神経科医が、目と脳の奇妙で驚くべき働きを描く。

著者紹介：開業医。作家。コロンビア大学メディカルセンター神経学・精神医学教授。著書に『レナードの朝』『妻を帽子とまちがえた男』など。2008年に大英帝国勲章を授与された。

請求記号：493.7/Sa,12

『ことばは変わる』

黒田 龍之助 著

白水社 刊

ことばはなぜ変化するのか、どのように変化するのか。

ヨーロッパの言語に偏らない複数言語学という視点から、ことばの本質に迫る。

言語接触やピジン・クレオール、言語政策についてもくわしく解説。

著者紹介：1964年東京生まれ。東京大学大学院修了。スラヴ語学専攻。著書に『大学生からの文章表現』『ぼくたちの英語』『語学はやり直せる!』など。

請求記号：801/Ku,72

『宮沢賢治祈りのことば』

石 寒太 著

実業之日本社 刊

かなしみはちからに、欲(ほ)りはいつくしみに、いかりは智慧にみちびかるべし。

宮沢賢治の作品の中から、生きる力や希望が湧いてくることばをテーマ別を選び、やさしい解説を加えながら紹介する。

著者紹介：1943年静岡県生まれ。俳人。俳誌『炎環』主宰。「俳句あるふあ」編集長。著書に『石寒太句集』『宮沢賢治10の予言』など。

請求記号：910.26/Mi,89

『限界集落株式会社』

黒野 伸一 著

小学館 刊

起業のために会社を辞めた多岐川が訪れた故郷は、限界集落と言われる社会的な共同生活が困難な土地だった。彼は故郷を再生するため、かつての負け組たちと立ち上がる！

『STORY BOX』連載に加筆修正して単行本化。

著者紹介：1959年神奈川県生まれ。「坂本ミキ、14歳。」で第1回きらら文学賞を受賞し、デビュー。ほかの著書に『万寿子さんの庭』『幸せまねき』など。

請求記号： F/Ku,75

※本の内容紹介は、図書館流通センター(TRC) MARCより引用しました。

→ [バックナンバーはこちら](#)

→ [新着図書の一覧はこちら](#)

→ [インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)